

# 横浜市内幼稚園児における食物アレルギーの実態 調査-幼稚園教諭と保護者へのアンケート調査-

出典 日本小児アレルギー学会誌 (0914-2649) 19 巻 2 号 Page216-221 (2005. 06)  
(<http://search.jamas.or.jp/link/ui/2005186725>)

著者 伊藤玲子 他

調査地域 神奈川県横浜市

調査時期 2002 年

調査対象 3～6 歳

依頼数 教諭 : 298 園 保護者 : 1610 人

有効回答数 教諭 : 176 園 (園児数 35779 人) 保護者 : 1148 人

有効回答率 教諭 : 58% 保護者 : 71%

診断方法 自己申告 (既往)

有症率 2.4%

調査概要 横浜市内幼稚園児における食物アレルギーの実態を調査した論文。  
食物アレルギー児の 14%が園で症状が認め、皮膚症状や喘鳴が多く、ショックも認めた。医師の診断に基づいた食物除去指示はごく一部のみであった。